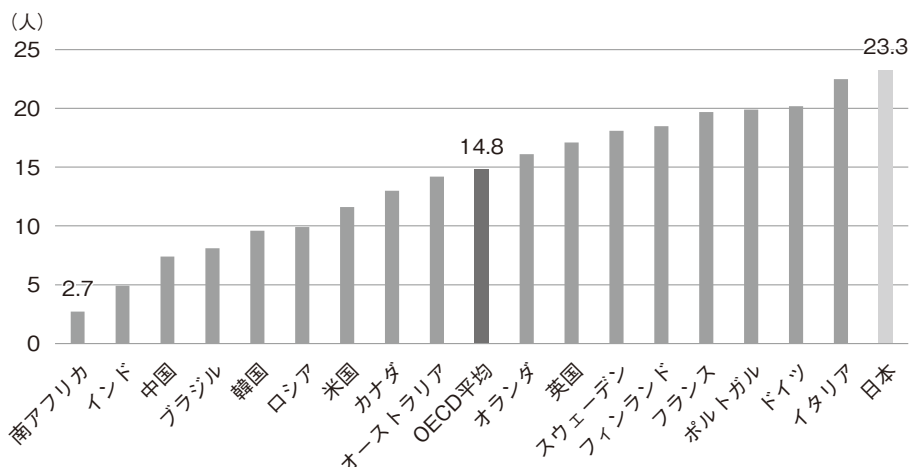


人口 1,000 人当たり認知症患者の数



認知症の有病率に関する OECD の報告では、OECD 加盟 35 カ国のうち、日本の有病率が最も高いという結果になった。また、2 位にイタリア、3 位にドイツと高齢化率の高い国が続いており、高齢化と認知症の関連が示された。同報告では、2017 年現在 2.33% である日本の人口に対する認知症有病率は、2037 年には 3.8% まで上昇すると推測し、早急の対策を促している。

OECD : Health at a Glance 2017 より一部抜粋して作図